

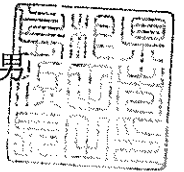


建企 第 43 号

平成 19 年 4 月 27 日

国土交通省 道路局  
局長 宮田 年耕 様  
(中期計画作成担当)

島根県浜田市市長 宇津 徹男  
(建設企画課)



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出 について(回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号にて依頼のありました標記の件について、  
下記のとおり意見書を作成し回答いたします。

記

- 1 提出する意見書 別紙のとおり
- 2 問い合わせ先 島根県浜田市 建設部 建設企画課

連絡先 0855-22-2612 (代表) 内線 575

# 中期的な計画の作成にあたっての意見について

浜田市

## <概要>

浜田市では「青い海・緑の大地 人が輝き文化のかおるまち」をまちづくりの理念とし、「安心して、健やかに、楽しく住める一体的なまちづくり」と「地域の個性を活かしたまちづくり」を基本に、魅力と活力に溢れ、21世紀に飛躍する市民主体の新しいまちの実現をめざしています。そのなかでも道路行政においては高速道路をはじめとした道路網の整備は、自立をめざす地方にとって必要不可欠です。

しかしながら、過疎化、少子高齢化が進む中で、人口の定住や地域の活性化を図り、地方が自立的発展を期するためには、道路整備の進んだ都会地とは異なり、島根県の道路整備は「未だ道半ば」であり、特に、高規格幹線道路の早期整備は、喫緊の最重要課題です。

また、国においては、真に必要な道路は計画的に整備を進めることとして、この度「中期計画」を策定されることになりましたが、単なる採算性の追求だけでなく、地方の活性化や自立に必要な地域の基幹道路や災害に強い道路の整備など地方の実情・意見を十分に認識していただいた上で、次の事項を踏まえた計画を策定する必要があります。

### ○「重点化を進める上で特に優先度の高い政策」について

#### ●山陰道の早期完成

高速道路ネットワークは、広域連携や地域間競争に打ち勝ち、地方が自立的に発展するための絶対的条件であり、国土政策として国の責務において整備すべきです。特に山陰側のネットワークは北東アジアにおける有事の際、武力攻撃事態への対応及び国民保護活動を的確かつ迅速に実施するためにも必要不可欠であり、未だ全国のネットワークにつながらず、県内の東西間の移動に4時間も要する現状は早急に解消されなければなりません。このため「中期計画」においては、山陰道の完成スケジュールを明示すべきです。

#### ●災害に強く緊急医療にも対応できる道路ネットワークの確保

島根県においては、これまでも集中豪雨による大規模災害や、大雪・交通事故等による道路ネットワークの分断が度々発生していますが、昨年7月の豪雨災害では、国道9号をはじめ県内各地の国県道で全面通行止めが発生し、国道9号に関わるものだけでも延べ130万台もの車に影響を及ぼし、また県内10箇所集落の孤立が発生しました。国道9号の大部分が片側一車線で事故や災害で通行止めになるとたちまち交通まひとなり、消防、救急活動にも支障が生じています。そのため災害に強い防災対策も含め、緊急医療にも対応した安心、安全な道路ネットワークを整備すべきです。

#### ●観光振興・国際貿易の振興、物流のための幹線道路

島根県内には、西の山口県萩市に隣接する津和野町から今年7月頃に世界遺産に登録予定の石見銀山などにかけて歴史的文化遺産やいまだ開発されていない自然が多数残っています。それらを有効に活用した観光振興や、安全で良質な農林水産物の販路拡大、環日本海に臨む浜田港の利用促進など国際貿易の振興など、県内各地や全国各都市に直結する高速道路や国県道の幹線道路の整備を重点的に整備すべきです。

#### ●子供や高齢者の安全確保のための歩道整備及び交通安全確保のための道路改良